



創立150周年記念式典

寒さは厳しくなりましたが、朝は、青空のもと美しい富士山を見ることができ、夜は、星がきれいに見える季節になりました。

12月は、一時、南小でも新型コロナウイルス感染拡大の兆候が見られました。これまで以上に、感染拡大防止に注意しながら、教育活動を止めないようにしていきたいと考えています。御家庭におかれましても、健康管理には十分御留意ください。

さて、11月26日(土)に、「創立150周年記念式典」がありました。式典の中で子供たちに伝えたことは、「150周年という節目の年に、南小の児童であった巡り合わせを大切にしてほしい」ということです。そこで、次の三つの話をしました。

- ・南小創立150年という歴史を学ぶことができ、みんなは、その歴史の上に成り立っていること。
- ・南小の伝統を受け継いで、さらに「よりよい学校にしていく」という役割を再確認し、これから、南小をどんな学校にするのか、つくっていくのはみんな一人一人ということ。
- ・スローガン「歴史と絆 そして未来へ」の意味を一人一人受け止めてほしい。

第2部では、6年生による「レパートリー(合奏:ドナウ河のさざなみ)」の発表がありました。

昭和38年度から続いている南小伝統のレパートリーです。今年で、第59代になりました。昨年の12月から引き継いで、この日のために、およそ一年間かけて練習してきました。6年生が掲げたスローガン「仲間とともに響かせよう 心に残る美しい音色を」にふさわしい、心のこもった見事な演奏でした。

【6年生の感想】

- レパートリーは、前の6年生から受け継ぎ、約1年間練習してきたので、レパに対する思いが変わったと思います。最初は、難しい曲をただ吹いているだけだったけど、何度も同じパートの人たちや、同じ59代目の人たちと練習していくにつれて、学校の伝統のすごさと、前の代の人たちの思いを、来年の6年生に託したいなと思うようになりました。また、同じパートの人と練習するときは、同じ楽器、同じ旋律でわからなくなってしまうことがあったので、実際にレパを演奏している音楽を流したり、メトロノームを使ったりするなど、工夫して練習をしました。そして、学校にある楽器は、どれも昔から使われていて、今はもう手にはいりにくいものばかりなので、少し、こわれているものもあったけど、大切に取り扱いました。そして、レパを学年全員で行って、学校の歴史のすごさを改めて知れたのでよかったです。南小学校のことをとても誇りに思いました。
- レパートリーは、59年前から受け継がれていて重要なんだと思いました。58代から受け継がれたばかりの時と最後の時と比べると、強弱や指揮者を見ることを意識できて達成感があるものとなったと思います。パートの練習の時は、パートでそろわなかったところを多く練習してそろおうようにし、パートリーダーとして活動できたと思います。発表会本番は5年生や保護者の方など、たくさんの方がいる中で演奏するのは、とても緊張しました。でも、思っていたより全力で楽しんでできたと思います。91人という大人数で合奏するのは初めてで休み時間も練習したので、自信をもってできたと思います。代々



受け継がれていく伝統を受け継げることができて誇りに思います。

さらに、式典では、「ちから山大作戦の動画」も流されました。「ちから山」が、南小にとって、「心のふるさと」であることが伝わってきます。「ちから山」に対する思いがたくさんつまった動画です。以下のQRコードやURLから視聴できます。ぜひ、御覧ください。また、お知り合いの方等にも御紹介いただくと大変有り難く思います。よろしくお願いします。



「ちから山大作戦の動画」

<https://youtu.be/hwWCqaomLYc>



☆ なかよし学習発表会

12月3日(土)に三島市民文化会館大ホールで、4～7組の児童が、大きな舞台上、すばらしい発表をしました。今までに学習した成果を活かした南小の子供らしさがあふれ出ていました。一人一人が輝いていました。

【子供たちの感想】

- ・ぼくは、いろいろなことをがんばりました。特に、演奏が大変でした。みんなと合わせるのが大変でした。でも、みんなといっしょにがんばってできました。これからも、なかよし発表会をがんばります。
- ・行く前は、緊張して「側転やダンスも上手にできるかな?」と思いましたが、側転もダンスもうまくできました。側転は、パパに「うまいね。」と言われて嬉しかったです。ポーズの時、緊張しましたが、上手くポーズできました。合奏もうまくできたと思います。楽しいなかよし発表会になりました。



☆ 学校保健委員会 SC若尾美智子先生講演「思春期のモヤモヤ対策」

11月10日(木)5年生を対象に、「学校保健委員会」が開かれ、SC(スクールカウンセラー)の若尾美智子先生に、「思春期のモヤモヤ対策」について講演していただきました。

子供の心をさぐるのは、大変難しいです。これから思春期を迎える子供や、思春期に入っている子供にとって、貴重な話を聴くことができました。困っている時には、「話を聞いてもらう」「助けを求める」、子供が身に付けなければならない大切なスキルだと思います。

保護者の皆さんも、子育て等で悩みがあるときには、ぜひ、スクールカウンセラーの方に、話を聞いていただくのはいかがでしょうか。



【子供たちの感想】

- ・自分だけでなく、他の人も同じ悩みや、同じ気分になったりしていることが分かった。
- ・困った事があればカウンセラーの人に相談できるので、とても安心した気持ちになりました。
- ・スクールカウンセラーの方がすごく優しくそうで、何か困ったことがあったら、相談してみようと思いました。
- ・自分だけその悩みを抱えていると思っていただけで、他の人も同じ悩みを抱えていて、自分だけじゃないと思いました。
- ・人の目が気になるというのは、自分のことをみんなそんなに見ていないとわかっていただけで人の目を気にしてやりたいことなどを我慢していたので、同じ悩みを抱えている人はいると思って安心しました。
- ・思春期を聞いてみて、思春期になるのは、一人一人ペースが違うんだと知りました。私も、思春期は少し不安だけど、思春期の話を聞いて少し安心しました。

